



写真甲子園映画女優と連携が始まる!?

突然、慶應大学の玉村雅敏教授と学生の中川梨花さんの訪問があった。ご両人も東川フアンで、玉村教授は同大学小島敏明教授とともに「東川スタイル」を全国で紹介し、中川さんは女優で学生、映画「写真甲子園 0・5秒の夏」で東京の写真部生徒、霧島綾香を演じている。当時は高校3年生で、大学進学を希望していたが、映画ロケなどもあって4月受験を諦めていたが、「東川スタイル」を読み一層地方に関心を寄せ、9月受験で玉村教授がいる慶應大学を目指したと言う。偶然ではあるが、玉村・小島両教授は「写真甲子園 0・5秒の夏」に審査員として出演していたが、全く気が付かず、大学へ入ってから知ったという。縁とは思えないものだ。

中川さんは既に3年目に入り、玉村雅敏研究会に所属している。「うちの地元、田舎だし何もない」の言葉の中から、地方には誇るべき価値があるのに気が付かず、何もないという「心の衰退」が地方の活気を低下させているのではないかと彼女は考えている。地域の住民が「地元を誇りに思う心」、新たな「心の創生」こそが、地域に必要ではないかと感じたようである。

東川の撮影滞在を通じて、「住民が町を誇りに思う心」に惹かれたという。彼女の表現を借りると「心の創生」がある町だと言う。私たちにとって若い世代に訴えることができる町であることを知って、嬉しくもあり、大きな刺激となる。そんな彼女から提案があった。作り手と受け手という両方を担いながら、魅力再発見・再認識、そして住民と繋がるキッカケになれば、と紙媒体による「地産地読」による輪づくりである。慶應大学玉村研究所との連携で、若き学生で女優の中川梨花さんの宝物探しが始まるのだ……。どんな宝物を住民と共有し、心を豊かにすること「心の創生」ができるか楽しみである。テレビコマーションシャルの出演も決まっているようだ。何のCMか注目して探したい。

長く乗り続けるためのクルマ運転テクニック図解(一般書)



MS&AD基礎研究所によるアンケートで80歳以上のドライバーのうち72%が「自分の運転に自信がある」という結果が出ました。安全に長く車に乗る続けるために、いま一度運転を見直してみませんか? ベテランドライバーが忘れがちな運転技術やマナー、気をつけたいトラブルと対処法、安全運転に役立つ情報などを、イラストを交えてわかりやすく解説。



せんとびゅあII ほんの森
【貸し出し】
図書、紙芝居、雑誌は一人合計10点まで(15日間)
DVDは一人2本まで(8日間)
★本、DVDの蔵書リクエストもお受けしています

ボヘミアン・ラブソディ (DVD)



1970年ロンドン。若きフレディ・マーキュリーは通っていたライブハウスのバンドに自らを売り込む。フレディの歌声に心を奪われた二人のメンバーと、1年後さらにベーシストを加えバンド名が「クイーン」となった四人のシングル「キラー・クイーン」が大ヒット。個性的なメンバーの革新的な挑戦に、フレディは史上最高のエンターテイナーとまで称されるようになる。(135分)

わたしが障害者じゃなくなる日 (児童書)



わたしが病気であることと、「障害がある」ことは、別のこと。わたしの生きづらさをつくりだしているのは、この世の中、この社会。難病をかかえる著者が、これまでの経験をふり返りながら障害のみかたが変わるメッセージを送る。「合理的配慮」など障害者理解に欠かせないテーマも取り上げ、「共に生きる社会」をみんなでいっしょに考えるための1冊です。